

**宣誓**  
 私たちは  
 女性の持つきめ細かさ  
 親しみやすさを活かした  
 火災予防啓発などを行い  
 市民の防災意識を高め  
 女性団員が  
 消防団活性の一助となり  
 安全安心なまちづくりに  
 貢献することを誓います

平成26年11月29日  
 可児市消防団  
 女性消防団員  
 代表 荒尾 美代子



## 可児市 初 女性消防団員誕生

# 女性目線で イメージチェンジ

### 可児市消防団初の女性団員 に期待する

可児市消防団に、初の女性消防団員10人が入団しました。女性の持つソフトな面を生かした消防団活動として、火災予防啓発や消防団のイメージアップなどを担うことが期待されています。昨年11月29日、可児消防事務組合南消防署で入団式が行われました。

富田市長は「歴史と伝統ある組織に新たに女性ならではの力をプラスしてほしい。当然あつれきなどもあると思うが、それを跳ね返して活躍してほしい。女性の意見を受け入れられるよう



に体制を整えていきたい。まだまだ消防団への理解が足りていないので、消防団活動を女性団員が体験し、広く伝えていくことで、消防団の正しい理解につなげていくことを期待している」と述べました。

小澤修二消防団長は「近年は災害が多様化している。女性の任務として広報活動や災害時の後方支援などをお願いしたい。消防団員のメリットとして、地域貢献できることや地域の人と知り合いになれることなどが財産になる」と訓示を述べました。

### 女性消防団員の紹介・抱負



**村田** 私は、災害看護がたくて看護師になりました。防災にも興味があったので、今回女性消防団員に応募しました。

BLS（一次救命処置）の指導者資格を持っているので、地域の防災力の向上のため、地域の人に教える機会ができればいいなあと思います。



**奥村** 夫が消防団員なので、いつも活動の際に、娘に「お父さんは地域のお仕事にいつか入りたいよ」と言い聞かせています。娘から「女の人も入れるの？」と聞かれました。今回募集を見て、自分がチャレンジしなきゃと思うから、入団しました。

## 私たちが、いつかできること

**生田** 以前から、市長への提案などで女性消防団の結成を訴えていましたので、やっと実現になったこの思いです。息子が昨年消防士になったので、それにも触発されました。



**荒尾** 子ども会の会長をやっています。その際に、地域の防災訓練や水防訓練に参加しましたが、子どもや自分たちの世代は参加していませんでした。小さいころから地域の行事に参加しなければ、大人になっても参加しないのではないのでしょうか。少しでも女性の力で底上げをしていきたいです。



## 憧れの消防団に入団できる喜び



**齊藤** 2年前に可児に引っ越してきました。消防団の人は、サイレンが鳴ると走って出動します。その姿は格好いなあと思っていました。操法大会も見に行きましたが、その姿も格好よかったです。私も制服が着ることができうれしいです。

**前島** 幼いころ、父が消防団員として活動している姿を見て育ってきたので、消防団にはずっと憧れていました。これからは、私も市民の皆さんの防火・防災活動に少しでも力になりたいと考えています。



### その他の意見

・入団者増加策 以前、蘇南中学校で1日消防体験をやったことがあり、その時の体験が楽しかったと言っている入団してくれた団員がいます。そういったことを参考にしていければと思います。

・操法大会 大会のみではなく、子ども連が楽しめるようなブースやイベントも開催したらどうでしょうか。



### 女性消防団員入団者（10人）

荒尾美代子、生田節子、奥村裕記子、加藤恵、後藤恵、齊藤裕未、志村ひとみ、長瀬裕美、前島那香、村田真由子

※今年の夏以降、団員を再募集する予定です。

問合せ 防災安全課